

令和2年6月

第695号



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



『愛津原地区のじゃがいも畑』雲仙市愛野町
ドローンによる撮影



～目次～

第64回 通常総会	2
全国水土里ネット第62回 通常総会	4
全国水土里ネット表彰式	4
第213回 理事会	4
第214回 理事会	5
「新型コロナウイルス感染症に対する支援について」の緊急要請	5
国の農業農村整備予算の推移	6
長崎県の農業農村整備予算の推移	6
長崎県の令和2年度 農業農村整備予算割当額	6
土地改良事業団体連合会九州協議会事務責任者会議	7
土地改良区の複式簿記導入に向けて	7
本会の新型コロナウイルス感染症対策について	7
水土里ネット長崎 新規採用職員の紹介	8
技術力向上のため資格取得の取り組み	8
令和2年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図	9
令和2年 春の叙勲・褒章受章おめでとうございます	10
第12回 長崎の農業・農村写真コンテスト入賞・入選作品決定	10
土地改良施設突発事故復旧事業について	11
会議と行事について・お知らせ	12

第64回 通常総会

2月25日(火)、セントヒル長崎において122会員のうち、委任状を含む114会員の出席により本会の第64回通常総会を開催しました。

開会にあたり古川隆三郎：水土里ネット長崎会長が挨拶を行い、来賓の中村法道：長崎県知事（代理：中村功農林部長）、瀬川光之：長崎県議会議長、横井績：九州農政局長、進藤金日子：参議院議員が祝辞を述べられました。

議事では、松尾文昭：愛津原土地改良区理事長を議長に選任し、各議案が審議されました。なお、上程した議案は全て可決承認されました。

また、第9号議案の役員改選に関する件においては、宮本正則理事が退任され、新たに平山学：諫早干拓土地改良区理事長、林田俊秀：三会原土地改良区理事長が選任されました。

最後に決議文を町田一久：桃山田土地改良区理事長が力強く朗読し、満場一致で採決されました。

総会に合せて、土地改良事業功労者表彰式及び第12回長崎の農業農村写真コンテスト表彰式が執り行われ、8名の受賞者へ賞状と記念品が古川会長及び中村農林部長より授与されました。



第64回通常総会風景

《本会総会議事》

- 第1号議案 平成30年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 令和元年度事業変更計画書及び収支補正予算書の承認を求める件
- 第3号議案 定款一部変更の承認を求める件
- 第4号議案 規約一部変更の承認を求める件
- 第5号議案 令和2年度経費の賦課及び徴収方法の承認を求める件
- 第6号議案 令和2年度事業計画書及び収支予算書の承認を求める件
- 第7号議案 役員報酬額決定の承認を求める件
- 第8号議案 借入金額の限度及び借入の方法並びに余裕金の預入先決定の承認を求める件
- 第9号議案 役員改選に関する件



主催者挨拶
(古川隆三郎：水土里ネット長崎会長)



来賓祝辞（長崎県知事代理）
(中村功：長崎県農林部長)



来賓祝辞
(瀬川光之：長崎県議会議長)



来賓祝辞
(横井績：九州農政局長)



来賓祝辞
(進藤金日子：参議院議員)



決議文朗読
(町田一久：桃山田土地改良区理事長)

長崎県土地改良事業団体連合会 新役員執行体制

会 長 古川 隆三郎(島原市長)

副会長・専務理事 松尾 一郎

副会長(新) 小川 隆友(田平土地改良区理事長)

理 事 宮本 明雄(諫早市長)

理 事 金澤 秀三郎(雲仙市長)

理 事 松本 政博(南島原市長)

理 事 白川 永利(芦辺土地改良区理事長)

理 事(新) 平山 学(諫早干拓土地改良区理事長)

理 事(新) 林田 俊秀(三会原土地改良区理事長)

代表監事(新) 岡田 伊一郎(東彼杵町長)

監 事(新) 濱崎 保久(中央土地改良区理事長)

監 事(新) 平田 光昭(寺脇土地改良区理事長)

任期:令和2年4月1日~令和6年3月31日

決 議

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、日本の豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、担い手不足、鳥獣被害や近年激甚化する災害等により、農業施設の管理や営農の継続が危惧され、さらには人口減少に伴う地域活力の低下などが懸念されている。

国は、昨年十二月に、中山間地域や中小・家族経営も含め、幅広く生産基盤の強化を図り、我が国農業を国際競争や災害にも負けない足腰の強い産業に発展させるために「農業生産基盤強化プログラム」を策定した。土地改良事業は、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化だけでなく、新規就農者の増加や雇用の創出、人口増加にも結びつく、地域振興に不可欠な施策ツールである。

土地改良事業を通して、農地の集積・集約、大規模化、省力化、汎用化等が可能となる優良農地の創出を実現する生産基盤整備の加速化と、農業水利施設等の長寿命化のための適時適切な維持・更新が不可欠である。加えて、ため池を含む農業水利施設の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策の推進も必要である。

本県では、農地の基盤整備が完成した地域においては、担い手への農地集積に伴う経営規模の拡大、高収益性作物の導入や施設園芸、露地野菜の作付拡大により産地が強化され、農業所得向上が実現している。また、地域の児童数が増加するなどの波及効果が現れ、農業経営の強化とともに地域の活性化にも繋がっている。このことから農業農村整備は、地方創生、農業の競争力強化、国土強靱化といった政策課題への対応においても重要な役割を担っている。

そのような中、国の令和二年度の農業農村整備事業関係予算は、「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」の臨時措置を含み、当初予算と平成三十一年度補正予算を合わせると、大幅削減前の平成三十一年度を超える額を確保したものの、当初予算の占める割合は約七割に留まっている。事業を計画的に進めるためには、当初予算による安定的な予算確保が不可欠である。

一方、土地改良区においては、業務運営の適正化を図るための改正土地改良法が昨年施行され、組合員資格の見直しや貸借対照表の作成義務化に対応することが求められている。県は、組織運営強化のための土地改良区の統合に向けた説明会を開催し、令和三年度までに各市町単位で、土地改良区を一つに統合する計画を示した。今後、関係機関が一体となった協議や支援が必要である。

記

このような現下の状況を踏まえ、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指す施策の展開方向を踏まえ、「開く土地改良」のスローガンの下、左記事項が確実に実現されるよう国並びに県当局に求めることを第六十四回通常総会の名において決議する。

令和二年二月二十五日

長崎県土地改良事業団体連合会 第六十四回通常総会

土地改良事業功労者表彰受賞者

此見 武次(壱岐土地改良区 理事長)

鴨川 雅介(三川内土地改良区 理事長)

川口 規一(牟田土地改良区 理事長)

永田 隆(長崎県 県北振興局 農林部長)

毎熊 正美(諫早市 農林水産部長)

山田 秀明(南島原市 農林水産部 農村整備課長)

吉崎 宏(平成諫早湾干拓土地改良区 事務局長)

※敬称略



土地改良事業功労者表彰の皆さん

全国水土里ネット第62回 通常総会

3月26日（木）、都市センターホテル（東京都）において、全国水土里ネット第62回通常総会が開催されました。今回の総会は、新型コロナウイルスの影響により縮小して開催されました。

二階俊博：全土連会長挨拶（高貝久遠：全土連副会長代読）の中で、「当初予算は前年度の補正予算を合せて6,515億円が確保できた。これもひとえに皆様方のご尽力の賜であると厚く感謝申し上げる。2年続けて改正された土地改良法、更には「ため池新法」に則って、新たな事業展開を図っていく年となる。節目の年だからこそ、今一度原点に立ち戻り、皆様のご尽力のもとこの大きな年を乗り切って行きたい」と述べられました。なお、上程された議案については、全て満場一致で可決され、議案可決後に総会決議が事務局より読み上げられ、満場一致で採決されました。

農業農村整備優良地区コンクール 農村振興局長賞受賞！ 第61回 全国土地改良功労者等表彰

全土連は、令和元年度の「農業農村整備優良地区コンクール」、「第61回全国土地改良功労者等表彰」、「21世紀土地改良区創造運動表彰」の受賞者を発表しました。

本県からは農業農村整備優良地区コンクールの農業振興部門で、**三会原第1・第2地区（島原市：三会原土地改良区）が農村振興局長賞を受賞**いたしました。

また、全国土地改良功労者等表彰では、以下の団体及び個人が受賞されました。

第61回全国土地改良功労者等表彰

金章：古江・田中土地改良区（南島原市）

個人：木下 靖彦（飯盛開土地改良区 理事長）

徳永賢三郎（佐世保市西部土地改良区連絡協議会 事務局長）

本川 義一（水土里ネット長崎 参与）

受賞おめでとうございます。

土地改良事業に関わる皆様のますますのご活躍をご期待いたします。

第213回 理事会

2月3日（月）、土地改良会館において、本会の第213回理事会を古川会長他理事6名、監事1名の出席により開催しました。

議事では「令和元年度中間監査の報告」等各議案を審議し、各議案とも満場一致で可決されました。



議 題

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 第一号議案 | 令和元年度中間監査の報告について |
| 第二号議案 | 第64回通常総会の開催日時並びに場所の決定について |
| 第三号議案 | 土地改良事業功労者表彰に関する件について |
| 第四号議案 | 総会に付議すべき事項、第64回通常総会提出資料議案の承認を求める件について |

第214回 理事会

4月13日（月）に開催予定でありました、第214回理事会は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ会議開催を中止し、議案については会長専決により執り行いました。

議 題

第一号議案 長崎県農業農村整備事業推進協議会規定の一部改訂について

第二号議案 顧問の承認について

（理事会承認事項）長崎県土地改良事業団体連合会役員に関する取扱要領について

「新型コロナウイルス感染症に対する支援について」の緊急要請 長崎県知事、県議会議長、自民党県連へ要請

長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）及び長崎県土地改良事業団体連合会（会長：古川隆三郎島原市長）並びに長崎県土地改良政治連盟（会長：大久保信一吾妻土地改良区理事長）は5月20日（水）に長崎県知事（代理：綾香直芳農林部長）と自民党長崎県連（外間雅広幹事長）に「新型コロナウイルス感染症に対する支援について」の要請を急遽行いました。

また、5月26日（火）には、本会と土地改良政治連盟とで瀬川光之長崎県議会議長に要請を行いました。

【 要 請 内 容 】

- ① 事業予算の必要額の確保
- ② 労働不足に対する各種支援対策の実施
- ③ 農業者が感染した場合の営農支援体制の構築
- ④ 農畜産物価格下落に対する販売・流通対策の実施



綾香 直芳：長崎県農林部長へ要請

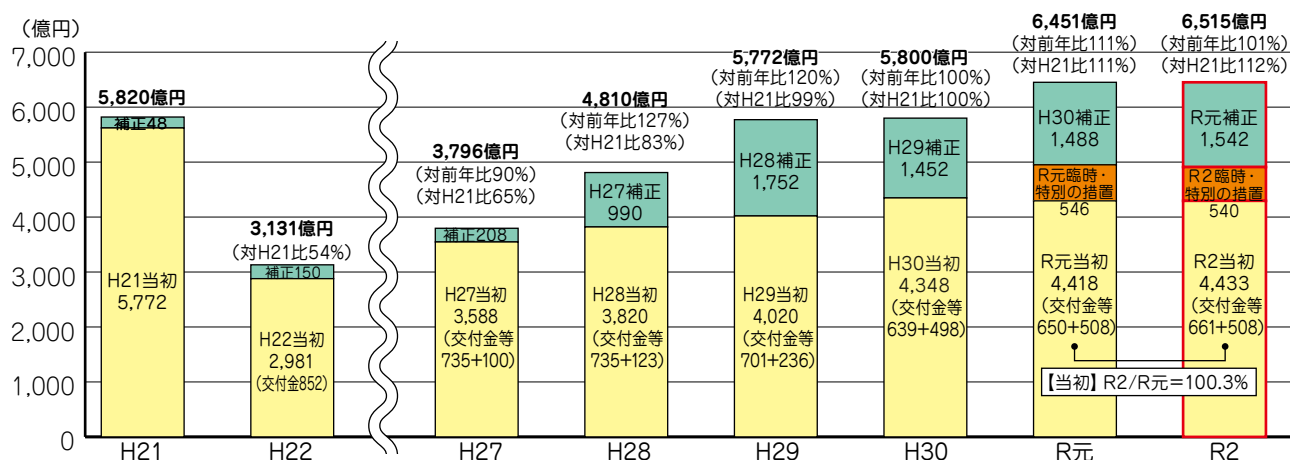


瀬川光之：長崎県議会議長・
西川克己：長崎県議会副議長へ要請

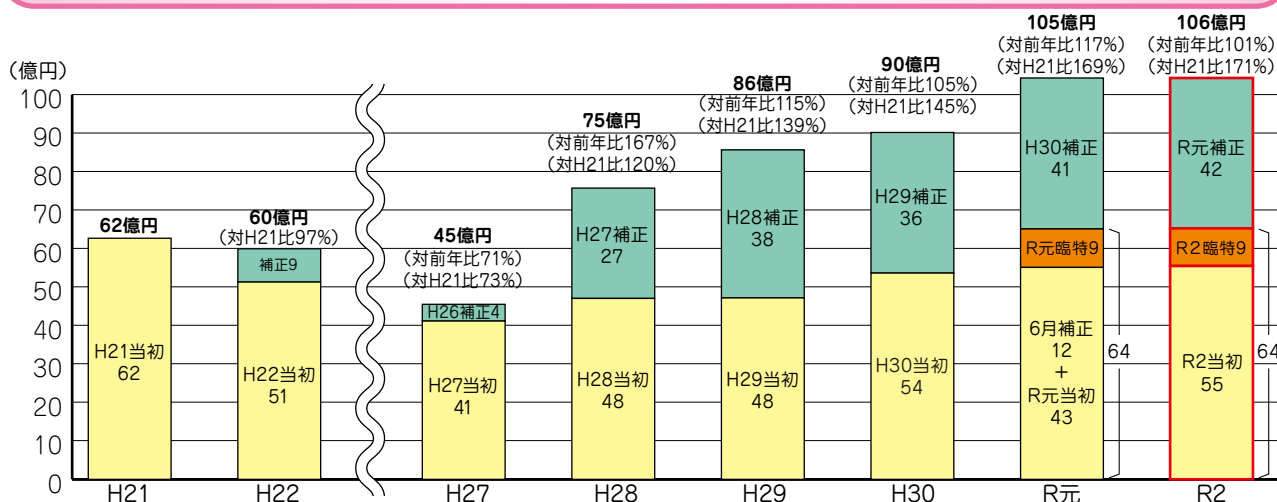


外間雅広：自民党長崎県連幹事長へ要請

国の農業農村整備予算の推移



長崎県の農業農村整備予算の推移



長崎県の令和2年度 農業農村整備予算割当額

(事務費抜き事業費ベース) 単位: 百万円

工種	平成31年度	令和2年度	R2内訳	
			H31補正	R2当初
基盤整備かん排	6,057	5,977	3,110	2,867
ストマネ	367	499	0	499
農道	1,191	1,104	145	959
農業基盤整備促進	255	197	0	197
防災	1,993	2,006	734	1,272
地すべり	179	222	222	0
海岸	484	561	0	561
その他	28	26	0	26
総計	10,554	10,592	4,211	6,381

土地改良事業団体連合会九州協議会事務責任者会議

5月28日（木）新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ合同会議を中止し、代わりにWebによる九州協議会事務責任者会議（臨時）を実施しました。

なお、来賓として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、室本隆司全国水土里ネット専務理事に参加して頂きました。

また、会議終了後、大内毅九州農政局農村振興部長との意見交換会を合せて開催しました。

ホスト県：長崎県（Zoom会議）



土地改良区の複式簿記導入に向けて

土地改良法の改正に伴い、令和4年度から貸借対照表の作成が義務付けされました。これを受けて、本会では貸借対照表を作成するための複式簿記導入に向けて、昨年より関係土地改良区を支援する巡回指導を実施しています。

今年度は、県内の土地改良区うち40土地改良区の巡回指導を計画しています。

また、併せて貸借対照表に計上する土地改良施設の資産についても資産評価を実施しているところです。

今年度巡回指導の対象となっている土地改良区におかれましては、順次実施させていただきますので、よろしくお願いします。

◆お問合せ先◆

長崎県土地改良事業団体連合会
会員支援課

本会の新型コロナウイルス感染症対策について

本会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の取り組みを実施しています。

①テレワークの実施

本会では、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、各職員が週1日程度の在宅勤務によるテレワークを4月23日から実施しております。

関係者の皆様にはご不便のないよう努めておりますが、ご不便をおかけすることがありましたら何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

②Web会議の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、本会では初めてWebによる管理者会議及び部課長会議を実施しました。

参加者の本部及び各支所の管理職は、ネット回線を通じて会議に参加し、トラブルもなく予定通り終えることができました。

Web会議の導入は、移動による時間及び交通費の削減にもつながることから今後の会議の在り方を変えていくことになると思います。

本会では、今後も情勢を鑑みながら、臨機応変に対応していけるよう取り組んでまいります。



水土里ネット長崎 新規採用職員の紹介



名前：鶴田 峻晟
(つるた りょうせい)
所属：技術課
出身：諫早市

皆さん、初めまして。今年度より長崎県土地改良事業団体連合会に入会しました鶴田峻晟と申します。

諫早農業高校農業土木科出身で、そこで測量の技術や農業土木に関する知識を学んでまいりました。

自分はあまり勉強ができるほうではなかったのですが、実習などで培った技術と経験を活かして頑張っていこうと思っています。

新型コロナウイルスの影響もあってドタバタな新年度となりましたが、少しでも早く先輩方に追いつき、自らの技術向上を目標に、そして長崎県の農業の発展のために貢献することができるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



名前：川口 巧聖
(かわぐち こうせい)
所属：換地課
出身：諫早市

皆さん、はじめまして。今年度より水土里ネット長崎に入会しました川口巧聖です。

大村工業高校建設工業科では、測量や土木力学などの専門知識を学び実習を積み重ねてきました。

部活動では陸上部に所属し、6年間長距離走で鍛えた体力を活かして、日々の業務を頑張っています。

まだまだわからないことばかりですが少しでも早く仕事を覚え、長崎県の農業農村地域の発展のために頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



名前：濱 龍大
(はま りゅうと)
所属：島原支所
出身：諫早市

皆さん、初めまして。今年度より水土里ネット長崎に入会しました濱龍大です。

私の卒業した諫早農業高校農業土木科では、測量や水循環、土質力学などを学習し、実習を積み重ねることで農業土木についての専門知識を培ってきました。それらの知識を様々な業務に最大限に活かしていきたいと思っています。

また、高校時代、運動部に所属しており、肉体的にも精神的にもタフな人間ですので、特に現場作業では誰よりも素早く、誰よりも多く働きたいと考えております。

これから多くのことを覚え、一日でも早く長崎県の農業農村地域の発展を支える農業土木技術者の一人となれるよう、日々精進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

技術力向上のため資格取得の取り組み

本会では、さらなる技術力の向上と顧客サービスの向上を図るため、資格取得に積極的に取り組んでいます。

昨年度は、以下の職員が各種資格を取得しましたのでご紹介します。

今後も、会員の皆様の信頼を得られるよう、努めて参ります。

一級土木施工管理技士
県央支所 補佐 波江野泰三

会計指導員
会員支援課 係長 牛島 香織
総務課 主任 平野まりこ

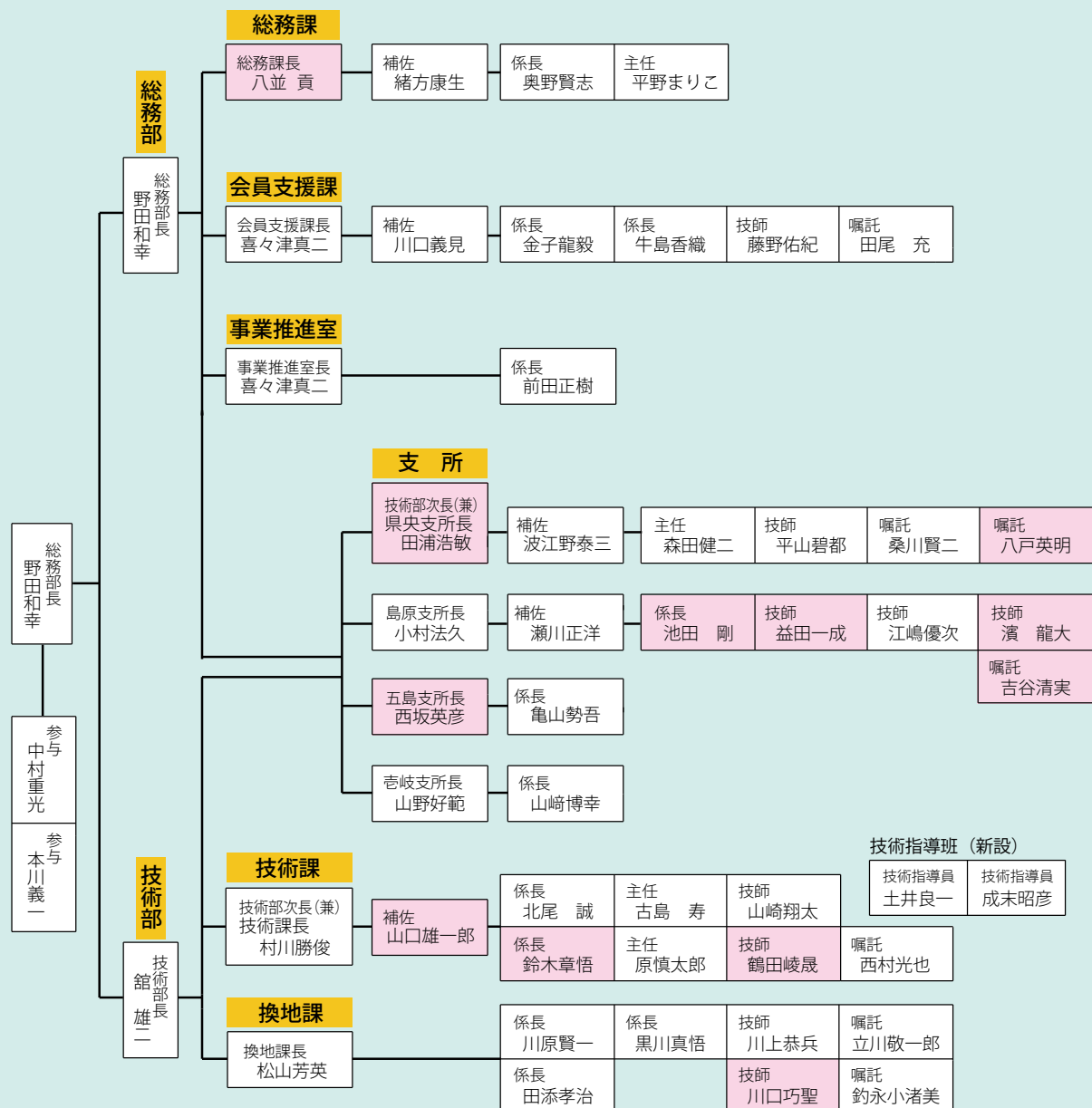
令和2年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図

役員

令和2年
6月1日現在 * : 新任

会長 島原市長 古川隆三郎	副会長 専務理事 松尾一郎	副会長 田平理事長 小川隆友	理事 諫早市長 宮本明雄	理事 雲仙市長 金澤秀三郎	理事 南島原市長 松本政博	理事 芦辺理事長 白川永利	理事 諫早干拓理事長 平山 学	理事 三会原理事長 林田俊秀	代表監事 東彼杵町長 岡田伊一郎	監事 中央理事長 濱崎保久	監事 寺脇理事長 平田光昭
---------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	---------------------	---------------------

事務局



令和2年春の叙勲・褒章受章おめでとうございます

令和2年春の叙勲において、山開博俊様（平成諫早湾干拓土地改良区理事長）が「旭日双光章（農業振興功労）」、林田俊秀様（三会原土地改良区理事長）が「旭日単光章（土地改良事業功労）」を受章されました。

また、褒章において、池田進様（前諫早干拓土地改良区副理事長）が「黄綬褒章（農業）」を受章されました。

皆様の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



山開博俊 様
（平成諫早湾干拓土地改良区理事長）



林田俊秀 様
（三会原土地改良区理事長）



池田進 様
（前諫早干拓土地改良区副理事長）

第12回 長崎の農業・農村写真コンテスト入賞・入選作品決定

1月24日（金）、土地改良会館において、5名の審査員により「第12回長崎の農業・農村写真コンテスト」の審査会が行われました。

今回の写真コンテストは、「農村と人の営み部門、農村景観部門、学生部門」の3部門を、4月1日から10月31日までの期間で募集しました。

審査会では応募総数150作品（61名）の中から、長崎県知事賞に峯友恒さんの「絆で護る馬鈴薯畑」、水土里ネット長崎会長賞に井島加米男さんの「農村の祭礼」、その他に部門優秀賞3点、入選10点が選出されました。



入 賞 作 品



長崎県知事賞

「絆で護る馬鈴薯畑」
峯友恒（大村市）



水土里ネット長崎会長賞

「農村の祭礼」
井島加米男（長崎市）

入賞・入選作品は、本会ホームページにも掲載しております。
ホームページ <http://ntr.or.jp>

1. 事業概要

土地改良事業等で造成され適切な保安全管理がなされた土地改良施設（農業用排水施設）の突発的な事故により機能低下又は喪失が生じた場合における機能回復を行い、農業被害を始めとする地域への被害を防止し、もって農業者の経営安定に資するための補助事業です。

2. 補助事業の内容

(1) 補助事業の名称

- ・長崎県土地改良施設突発事故復旧事業

(2) 事業主体

- ・市町及び土地改良区又は土地改良区連合

3. 負担割合

- ・内地【一般】 国：県：地元（市町、農家）＝50％：15％：35％
 - ・内地【中山間】 国：県：地元（市町、農家）＝55％：15％：30％
 - ・離島 国：県：地元（市町、農家）＝60％：15％：25％
- ※中山間は5法指定地域（過疎、山村、半島、離島、特定農山村）

4. 採択要件

- (1) 末端支配面積 20ha以上（中山間10ha以上）
- (2) 復旧事業費 2,000千円以上

新規事業制度の活用

事業内容		自然災害以外の突発事故により、機能が喪失・低下した土地改良施設の機能を回復させる工事を実施 (1) 現地仮復旧※1 (2) 機能回復を行う復旧工事 (3) 緊急応急工事※2		
事業区分		補助		
事業主体		市町、土地改良区又は土地改良区連合		
対象施設		土地改良施設（農業用排水施設（揚水機場、排水機場等））		
補助率		国	県	地元
	内地（一般）	50%	15%	35%
	内地(6法指定)	55%	15%	30%
	離島	60%	15%	25%
採択要件	末端支配面積	20ha以上（中山間地域10ha以上）		
	復旧事業費	2,000千円以上		
	その他	適切な保安全管理がなされている施設（機能保全計画の活用、維持管理計画書に基づく管理）		
事業の流れ		 突発事故の発生  施設管理者より一報  現地調査(突発事故の確認)  復旧工事 ※1 現地仮復旧：安全を確保するために行う措置又は暫定的な機能確保の措置 ※2 緊急応急工事：(2) 機能回復を行う復旧工事のうち地方農政局長等が緊急に施行する必要があると認める工事		

お問い合わせ先：お近くの市町または水土里ネット長崎までお願いします。

第43回 全国土地改良大会開催延期について

この度、10月14日（水）に開催を予定しておりました第43回全国土地改良大会 群馬大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により開催延期が決定されましたので、お知らせいたします。

なお、延期日程につきましては令和3年10月6日（水）を予定しておりますが、正式に日程が決まりましたら改めてご案内させていただきます。



【会議・行事について】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、土地改良事業関連行事も中止、延期となっております。改めて各行事等の日程が決まりましたらご連絡させていただきますので、予めご了承ください。



「みどり 長崎県土地改良事業団体連合会」 「水土里ネット長崎」

土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
 総務部：総務課 TEL(095)823-3101・✉ n.soumu.3101@ntr.or.jp
 会員支援課 TEL(095)893-5701・✉ nagasaki.kanri@ntr.or.jp
 技術部：技術課 TEL(095)893-5720・✉ nagasaki.setukei@ntr.or.jp
 換地課 TEL(095)893-5725・✉ nagasaki.kanti@ntr.or.jp

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp
 杵岐支所：〒811-5133 杵岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】

表紙の 写真紹介



愛津原地区のじゃがいも畑（雲仙市愛野町）

愛津原地区は県下有数の馬鈴薯の生産団地です。畑地の基盤整備により農業生産額の増加、担い手への農地集積が拡大するなど事業効果が顕著に発揮されています。

撮影：水土里ネット長崎